

平成27年度県民満足度等調査  
調査結果報告書  
(人生の最終段階における医療編)

平成 27 年 7 月  
岡 山 県

# 目次

## 第Ⅰ部 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の方法等	1
3	分析・表示について	1

## 第Ⅱ部 調査結果

### 1 あなたご自身について

問1 (1)	性別及び年齢階層	2
問1 (2)	世帯構成	2
問1 (3)	同居の子どもの有無	3
問1 (4)	子どもの成長段階	3
問1 (5)	居住地域(県民局)	3
問1 (5)	居住地域(医療圏域)	4
問1 (6)	県内での通算居住年数	4
問1 (7)	職業	4

### 2 人生の最終段階における医療等について

問1	介護が必要な状態になった場合、どこで介護を受けたいかについて	5
問2	「リビングウィル」という言葉とその意味を、知っていたかについて	7
問3	リビングウィルの考えについて	10
問4	余命が短い期間と告げられた場合に延命医療を望むかについて	13
問5	余命が短い期間と告げられた場合、療養生活は最期まで どこで送りたいかについて	17

### 3 資料

調査票	24
-----	----

## 第 I 部 調査の概要

### 1 調査の目的

県の施策実施による県民満足度と、県施策の重要性についての県民の意向を把握し、今後の施策展開していく基礎資料とすることを目的にアンケート調査を行った。

### 2 調査の方法等

- |           |                                |
|-----------|--------------------------------|
| (1) 調査地域  | 岡山県内市町村                        |
| (2) 調査対象者 | 岡山県内市町村在住の 20 歳以上の男女 2,500 人   |
| (3) 調査方法  | 住民基本台帳から無作為抽出して調査票を郵送配布（郵送回収）  |
| (4) 回収結果  | 1,266 人（回答率 50.6%）             |
| (5) 調査期間  | 平成 27 年 6 月 2 日（火）～6 月 23 日（火） |

### 3 分析・表示について

1. 比率については少数点以下第 2 位を四捨五入しているため、比率が 0.05 未満の場合には 0.0 として扱っている。また、この四捨五入のため、比率計がちょうど 100.0 とならない場合がある。
2. グラフの中の計はその項目の回答者の実数で、比率算出の基数となる。
3. 複数回答が可能な項目については、原則として、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、比率計は 100%を超えている。
4. 報告書中の図表では、表記の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。
5. 類似調査比較として、次の調査との比較を行った。

平成 25 年度調査：第 3 次おかやま夢づくりプランに係る県民満足度調査（終末期医療編）（岡山県）
平成 26 年度調査：在宅療養及び人生の最終段階における医療に関する意識調査（岡山県）
全国調査（平成 26.3）：人生の最終段階における医療に関する意識調査（終末期医療に関する意識調査等検討会）

## 第Ⅱ部 調査結果

### 1 あなたご自身について

#### ■問1(1)性別及び年齢階層

単位：上段は人、下段の( )内は%

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	計
男性	48 (9.2)	53 (10.2)	76 (14.6)	76 (14.6)	156 (29.9)	111 (21.3)	1 (0.2)	521 (41.2)
女性	44 (7.0)	97 (15.4)	140 (22.3)	113 (18.0)	125 (19.9)	109 (17.4)	0 (0.0)	628 (49.6)
無回答	0 (0.0)	4 (3.4)	8 (6.8)	11 (9.4)	27 (23.1)	54 (46.2)	13 (11.1)	117 (9.2)
計	92 (7.3)	154 (12.2)	224 (17.7)	200 (15.8)	308 (24.3)	274 (21.6)	14 (1.1)	1,266 (100.0)

#### <参考>岡山県の年齢別人口構成

単位：( )内は%

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上		計
構成比	(12.1)	(14.7)	(16.3)	(14.2)	(17.8)	(25.0)		(100.0)

(注)上記構成比は、平成26年10月1日現在の岡山県毎月流動人口調査から算出

#### ■問1(2)世帯構成

単位：上段は人、下段の( )内は%

	ひとり暮らし	夫婦のみ	親・子の二世帯	親・子・孫の三世帯	その他	無回答	計
構成比	153 (12.1)	339 (26.8)	555 (43.8)	177 (14.0)	21 (1.7)	21 (1.7)	1,266 (100.0)

#### <参考>岡山県の家族構成

単位：( )内は%

	親族世帯						その他の親族世帯	非親族世帯	単独世帯
	親族世帯全体	核家族世帯				その他の親族世帯			
		核家族世帯全体	夫婦のみ の世帯	夫婦と子 供から成 る世帯	男親と子 供から成 る世帯				
構成比	(69.2)	(56.4)	(20.5)	(27.4)	(1.2)	(7.2)	(12.8)	(0.7)	(30.0)

(注)上記構成比は、平成22年10月1日現在の国勢調査から算出

■問1(3)同居の子どもの有無

単位:上段は人、下段の( )内は%

	子どもがいる	子どもはいない	無回答	計
構成比	567 (44.8)	645 (50.9)	54 (4.3)	1,266 (100.0)

■問1(4)子どもの成長段階

単位:上段は人、下段の( )内は%

	小学校 入学前	小学生	中学生	高校生・大 学受験生	短大、大 学、大学院 専門学校 などの 学生	社会人	その他	無回答	計
構成比	118 (9.3)	150 (11.8)	113 (8.9)	89 (7.0)	72 (5.7)	550 (43.4)	49 (3.9)	366 (28.9)	1,266 (100.0)

■問1(5)居住地域(県民局)

単位:上段は人、下段の( )内は%

地 域	回答者数	配布者数
備前地域 (岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町)	585 (46.2)	1,192 (47.7)
備中地域 (倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町)	498 (39.3)	1,002 (40.1)
美作地域 (津山市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町)	168 (13.3)	306 (12.2)
無回答	15 (1.2)	
合計	1,266 (100.0)	2,500 (100.0)

■問1(5)居住地域(医療圏域)

単位:上段は人、下段の( )内は%

地 域	回答者数	配布者数
県南東部 (岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町)	585 (46.2)	1,192 (47.7)
県南西部 (倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町)	449 (35.5)	914 (36.6)
高梁・新見 (高梁市、新見市)	49 (3.9)	88 (3.5)
真庭 (真庭市、新庄村)	31 (2.4)	65 (2.6)
津山・英田 (津山市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町)	137 (10.8)	241 (9.6)
無回答	15 (1.2)	
合計	1,266 (100.0)	2,500 (100.0)

■問1(6)県内での通算居住年数

単位:上段は人、下段の( )内は%

	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	無回答	計
構成比	62 (4.9)	35 (2.8)	122 (9.6)	1,032 (81.5)	15 (1.2)	1,266 (100.0)

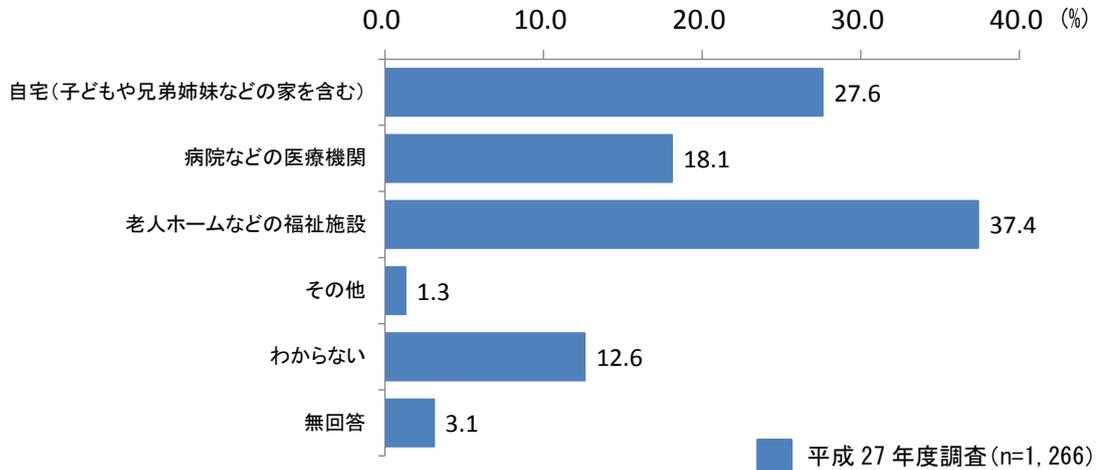
■問1(7)職業

単位:上段は人、下段の( )内は%

	自営業(農 林漁業、商 工サービス 業などで、 家族従業 者を含む)	会社・団体 などの正 社員(正職 員)	会社・団体 などの役 員	パートタイ マー、アル バイト、契 約社員 など	専業主婦 (主夫)	学生	無職	無回答	計
構成比	133 (10.5)	368 (29.1)	31 (2.4)	219 (17.3)	165 (13.0)	10 (0.8)	321 (25.4)	19 (1.5)	1,266 (100.0)

## 2 人生の最終段階における医療等について

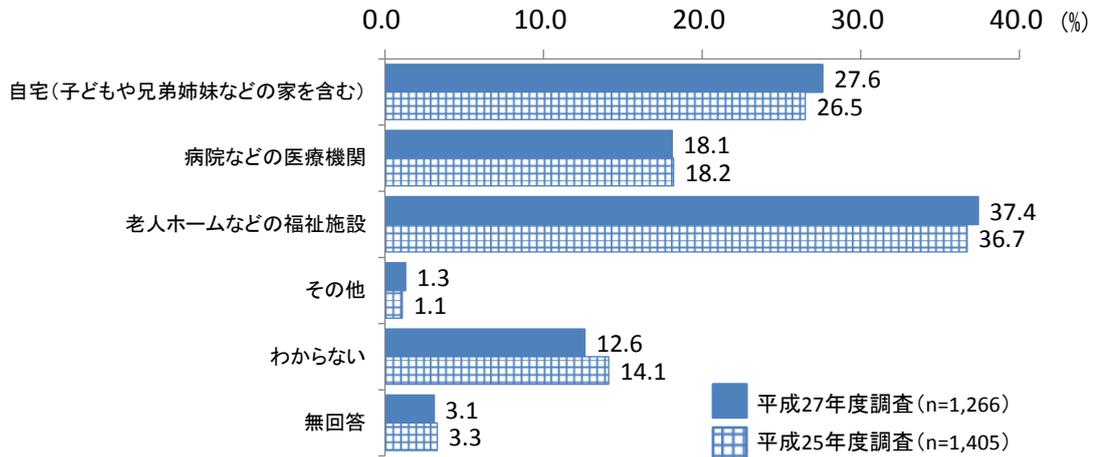
■問1 あなたが高齢となり、日常生活を送る上で介護が必要な状態になった場合、どこで介護を受けたいですか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



介護が必要な状態になった場合、どこで介護を受けたいかについて、「老人ホームなどの福祉施設」と回答した割合が37.4%と最も高く、次いで「自宅(子どもや兄弟姉妹などの家を含む)」(27.6%)、「病院などの医療機関」(18.1%)、「その他」(1.3%)の順となっている。

一方、「わからない」と回答した割合は1割程度となっている。

### <類似調査比較>



平成25年度調査と比較して、大きな差はみられない。

## 【介護が必要な状態になった場合、どこで介護を受けたいか】

	全 体	自宅（子どもや兄弟姉妹 などの家を含む）	病院などの医療機関	設 老 人 ホ ー ム な ど の 福 祉 施 	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全体	全体 n= 1,266	27.6	18.1	37.4	1.3	12.6	3.1
性別	男性 n= 521	30.9	18.6	31.9	1.3	14.8	2.5
	女性 n= 628	23.9	16.7	43.6	1.3	11.8	2.7
年齢階層	20歳代 n= 92	22.8	15.2	33.7	3.3	21.7	3.3
	30歳代 n= 154	24.7	13.6	47.4	1.3	12.3	0.6
	40歳代 n= 224	26.8	11.6	45.5	1.8	13.4	0.9
	50歳代 n= 200	27.0	20.0	35.5	1.5	13.0	3.0
	60歳代 n= 308	25.6	18.5	37.0	1.0	14.0	3.9
	70歳以上 n= 274	33.2	25.9	27.7	0.4	7.7	5.1
世帯構成	ひとり暮らし n= 153	21.6	22.9	39.9	2.6	11.1	2.0
	夫婦のみ n= 339	26.3	21.8	36.3	0.9	10.6	4.1
	親・子の二世帯 n= 555	27.2	15.3	38.6	1.4	14.8	2.7
	親・子・孫の三世帯 n= 177	37.3	16.9	31.6	0.6	11.9	1.7
	その他 n= 21	28.6	19.0	38.1	0.0	9.5	4.8
同居の子ども	子どもがいる n= 567	28.7	15.9	38.8	1.2	12.9	2.5
	子どもはいない n= 645	26.2	19.7	36.0	1.4	13.2	3.6
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 585	27.0	22.1	35.6	1.4	10.8	3.2
	備中地域 n= 498	27.1	15.5	39.0	1.6	14.1	2.8
	美作地域 n= 168	31.0	13.1	37.5	0.0	15.5	3.0
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 585	27.0	22.1	35.6	1.4	10.8	3.2
	県南西部 n= 449	26.5	15.6	39.6	1.6	14.5	2.2
	高梁・新見 n= 49	32.7	14.3	32.7	2.0	10.2	8.2
	真庭 n= 31	25.8	9.7	41.9	0.0	19.4	3.2
	津山・英田 n= 137	32.1	13.9	36.5	0.0	14.6	2.9
居住年数	5年未満 n= 62	21.0	12.9	46.8	3.2	12.9	3.2
	5年以上10年未満 n= 35	20.0	28.6	42.9	0.0	2.9	5.7
	10年以上20年未満 n= 122	28.7	13.1	41.0	1.6	13.1	2.5
	20年以上 n= 1,032	28.0	18.9	36.0	1.2	13.0	2.9
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 133	30.8	21.8	29.3	0.8	14.3	3.0
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 368	28.0	15.2	41.0	2.2	12.0	1.6
	会社・団体などの役員 n= 31	19.4	16.1	45.2	0.0	16.1	3.2
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 219	19.6	15.1	47.0	0.9	16.0	1.4
	専業主婦(主夫) n= 165	26.7	16.4	40.0	0.0	12.7	4.2
	学生 n= 10	40.0	20.0	30.0	0.0	0.0	10.0
	無職 n= 321	32.1	23.4	27.7	1.6	10.6	4.7

### ○介護が必要な状態になった場合、どこで介護を受けたいかについて

【自宅（子どもや兄弟姉妹などの家を含む）】世帯構成別で「親・子・孫の三世帯」が37.3%と高くなっている。

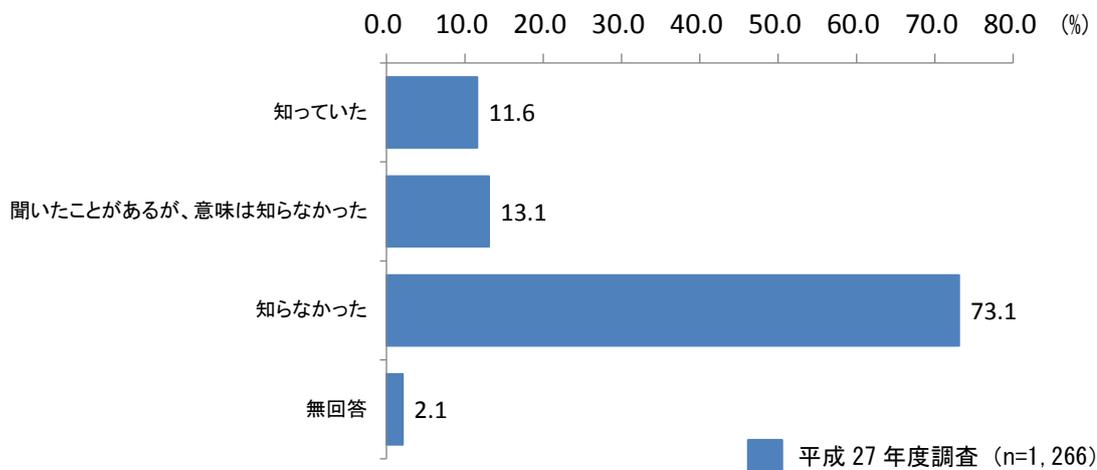
【病院などの医療機関】居住地域①（県民局）別で「備前地域」が22.1%と高くなっている。

【老人ホームなどの福祉施設】年齢階層別で「30歳代」（47.4%）、「40歳代」（45.5%）が高くなっている。

【その他】全体的に4%以下と低くなっている。

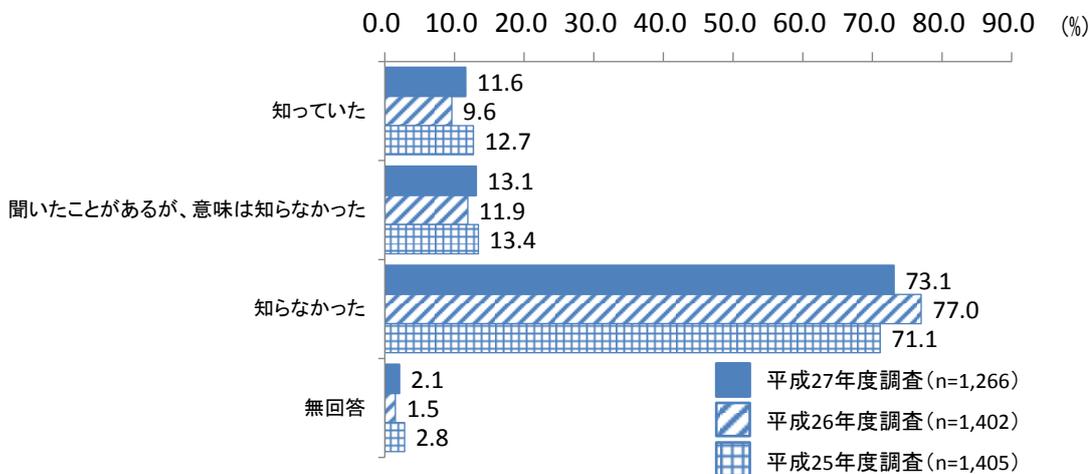
【わからない】年齢階層別で「20歳代」が21.7%と最も高くなっている。

■問2 「リビングウィル」という言葉とその意味を、あなたは知っていましたか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



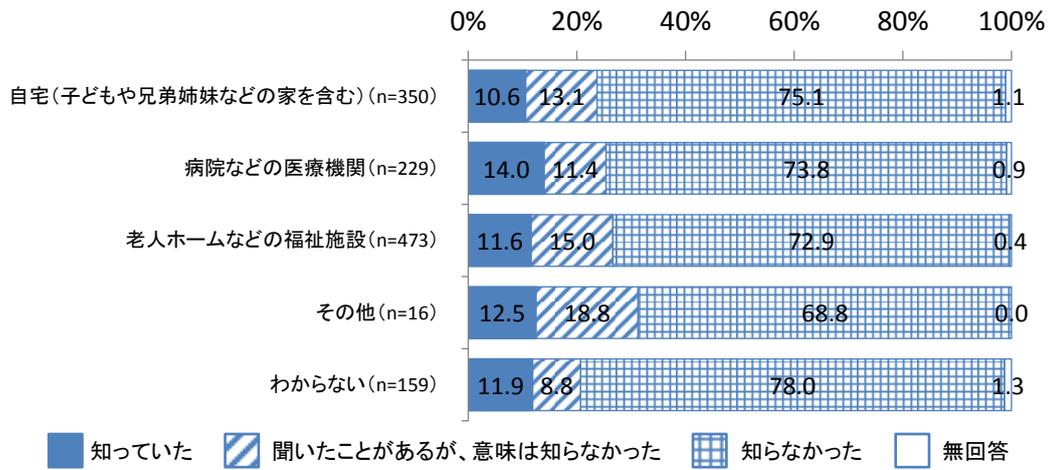
「リビングウィル」という言葉とその意味を知っていましたかについて、「知らなかった」と回答した割合が73.1%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、意味は知らなかった」(13.1%)、「知っていた」(11.6%)の順となっている。

<類似調査比較>



平成 25 年度調査・平成 26 年度調査と比較して、大きな差はみられない。

<問1とのクロス集計>



問1で「わからない」と回答した人では「知らなかった」と回答した割合が78.0%と高くなっている。

## 【「リビングウィル」という言葉とその意味を、知っていたか】

	全 体	知 っ て い た	意 聞 い た こ と が あ る が 、 意 味 は 知 ら な か つ た	知 ら な か つ た	無 回 答
全体	全体 n= 1,266	11.6	13.1	73.1	2.1
性別	男性 n= 521	10.9	11.3	75.2	2.5
	女性 n= 628	12.7	14.2	71.5	1.6
年齢階層	20歳代 n= 92	16.3	14.1	66.3	3.3
	30歳代 n= 154	9.7	14.3	76.0	0.0
	40歳代 n= 224	11.2	8.9	79.5	0.4
	50歳代 n= 200	10.0	11.0	76.5	2.5
	60歳代 n= 308	9.7	12.7	75.6	1.9
	70歳以上 n= 274	15.0	16.8	63.9	4.4
世帯構成	ひとり暮らし n= 153	19.0	12.4	68.0	0.7
	夫婦のみ n= 339	14.2	11.2	71.1	3.5
	親・子の二世帯 n= 555	8.8	14.4	75.5	1.3
	親・子・孫の三世帯 n= 177	10.2	11.9	74.6	3.4
	その他 n= 21	4.8	14.3	76.2	4.8
同居の子ども	子どもがいる n= 567	8.5	14.5	74.8	2.3
	子どもはいない n= 645	14.6	10.7	72.7	2.0
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 585	14.7	11.8	72.0	1.5
	備中地域 n= 498	9.8	14.3	73.3	2.6
	美作地域 n= 168	6.5	13.1	77.4	3.0
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 585	14.7	11.8	72.0	1.5
	県南西部 n= 449	9.4	12.9	75.5	2.2
	高梁・新見 n= 49	14.3	26.5	53.1	6.1
	真庭 n= 31	9.7	6.5	80.6	3.2
	津山・英田 n= 137	5.8	14.6	76.6	2.9
居住年数	5年未満 n= 62	16.1	16.1	66.1	1.6
	5年以上10年未満 n= 35	11.4	17.1	71.4	0.0
	10年以上20年未満 n= 122	9.8	10.7	77.9	1.6
	20年以上 n= 1,032	11.6	12.9	73.4	2.1
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 133	8.3	12.0	78.2	1.5
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 368	13.9	14.4	70.1	1.6
	会社・団体などの役員 n= 31	22.6	9.7	64.5	3.2
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 219	10.0	13.2	74.9	1.8
	専業主婦(主夫) n= 165	6.7	11.5	80.6	1.2
	学生 n= 10	20.0	10.0	60.0	10.0
	無職 n= 321	13.1	12.5	71.0	3.4

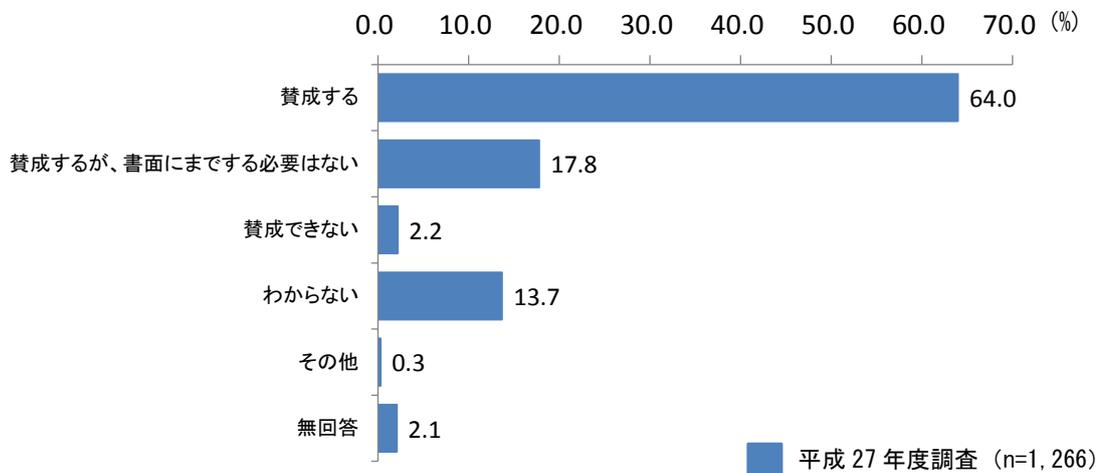
### ○「リビングウィル」という言葉とその意味を、知っていたかについて

【知っていた】世帯構成別で「ひとり暮らし」(19.0%)、職業別で「会社・団体などの役員」(22.6%)が高くなっている。

【聞いたことがあるが、意味は知らなかった】居住地域②(医療圏域)別で「高梁・新見」が26.5%と最も高くなっている。

【知らなかった】居住地域②(医療圏域)別で「真庭」、職業別で「専業主婦(主夫)」がともに80.6%と最も高くなっている。

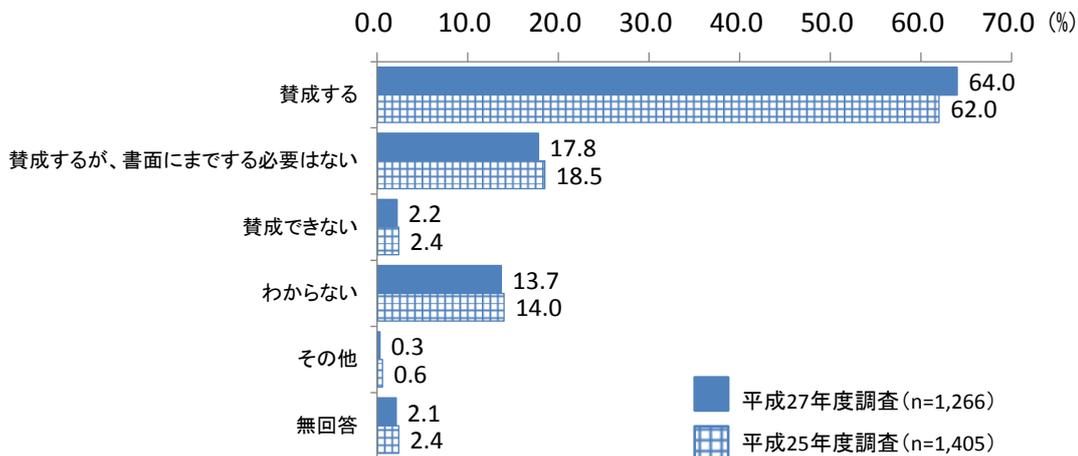
■問3 リビングウィルとは、「治る見込みがなく、余命が短いときには延命医療を拒否することをあらかじめ書面に記しておき、本人の意思を直接確かめられないときはその書面に従って治療方針を決定する。」という考え方のことです。このことについて、あなたはどのようにお考えになりますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



リビングウィルの内容で、その書面に従って治療方針を決定することについて、「賛成する」と回答した割合が64.0%と最も高く、次いで「賛成するが、書面にまでする必要はない」(17.8%)、「賛成できない」(2.2%)の順となっている。

一方、「わからない」と回答した割合は13.7%となっている。

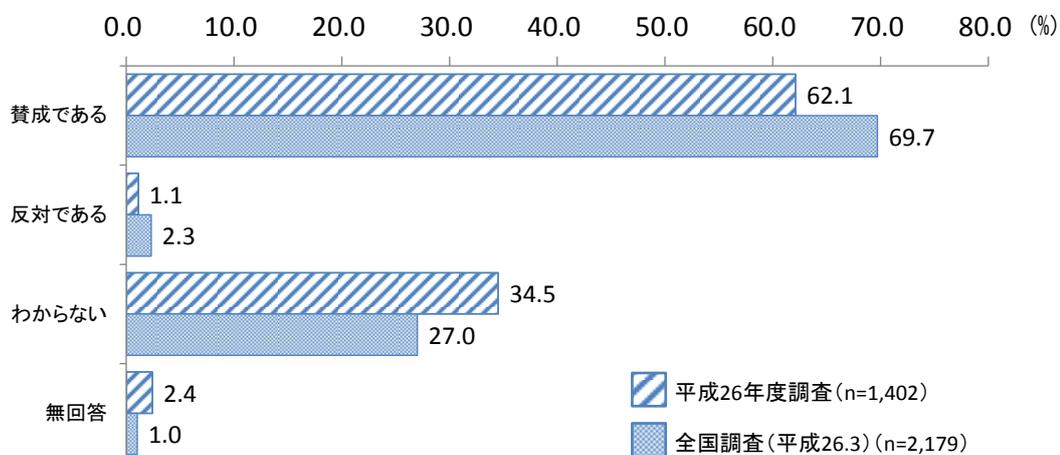
<類似調査比較>



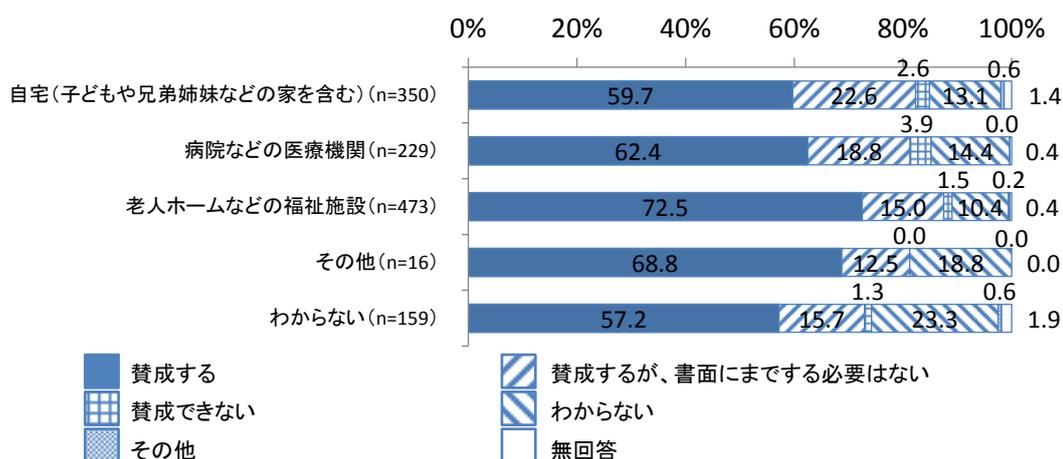
平成25年度調査と比較して、大きな差はみられない。

## <類似調査結果(参考)>

問 あなたは、自分で判断ができなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面(リビングウィル/事前指示書)をあらかじめ作成しておくことについてどう思いますか。

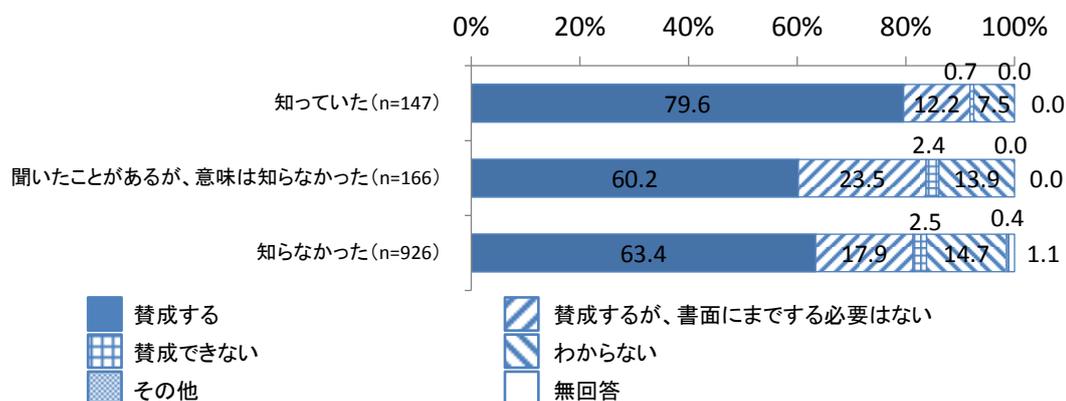


## <問1とのクロス集計>



問1で「老人ホームなどの福祉施設」と回答した人では「賛成する」と回答した割合が72.5%と高くなっている。

## <問2とのクロス集計>



問2で「知っていた」と回答した人では「賛成する」と回答した割合が79.6%と高くなっている。

## 【リビングウィルの考えについて】

	全 体	賛 成 す る	で 賛 成 す る が、 書 面 に ま で す る 必 要 は な い	賛 成 で き な い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全体	全体 n= 1,266	64.0	17.8	2.2	13.7	0.3	2.1
性別	男性 n= 521	63.0	20.7	2.3	11.7	0.2	2.1
	女性 n= 628	67.8	13.5	2.1	14.3	0.5	1.8
年齢階層	20歳代 n= 92	75.0	8.7	0.0	13.0	0.0	3.3
	30歳代 n= 154	77.3	5.8	2.6	13.6	0.0	0.6
	40歳代 n= 224	71.9	11.2	3.1	12.5	0.9	0.4
	50歳代 n= 200	68.5	13.0	3.5	13.0	0.0	2.0
	60歳代 n= 308	56.2	26.6	1.6	13.3	0.3	1.9
	70歳以上 n= 274	52.2	25.5	1.8	16.1	0.4	4.0
世帯構成	ひとり暮らし n= 153	64.7	17.6	2.6	14.4	0.0	0.7
	夫婦のみ n= 339	63.7	20.4	1.8	11.2	0.3	2.7
	親・子の二世帯 n= 555	65.8	16.0	2.2	14.1	0.4	1.6
	親・子・孫の三世帯 n= 177	59.9	18.1	2.8	15.8	0.6	2.8
	その他 n= 21	57.1	14.3	0.0	23.8	0.0	4.8
同居の子ども	子どもがいる n= 567	64.6	16.8	2.3	13.8	0.4	2.3
	子どもはいない n= 645	64.7	17.2	2.2	13.6	0.3	2.0
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 585	65.3	17.3	2.4	12.5	0.5	2.1
	備中地域 n= 498	62.9	17.9	2.0	14.9	0.2	2.2
	美作地域 n= 168	64.3	17.3	2.4	14.3	0.0	1.8
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 585	65.3	17.3	2.4	12.5	0.5	2.1
	県南西部 n= 449	63.9	17.6	1.8	14.5	0.2	2.0
	高梁・新見 n= 49	53.1	20.4	4.1	18.4	0.0	4.1
	真庭 n= 31	67.7	12.9	9.7	9.7	0.0	0.0
	津山・英田 n= 137	63.5	18.2	0.7	15.3	0.0	2.2
居住年数	5年未満 n= 62	79.0	11.3	1.6	4.8	0.0	3.2
	5年以上10年未満 n= 35	74.3	5.7	2.9	14.3	0.0	2.9
	10年以上20年未満 n= 122	67.2	13.9	1.6	15.6	0.0	1.6
	20年以上 n= 1,032	62.7	18.8	2.3	13.9	0.4	1.9
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 133	66.2	19.5	1.5	11.3	0.0	1.5
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 368	70.9	12.0	3.0	12.8	0.0	1.4
	会社・団体などの役員 n= 31	71.0	16.1	0.0	9.7	0.0	3.2
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 219	68.5	14.2	3.2	11.4	1.4	1.4
	専業主婦(主夫) n= 165	62.4	18.2	0.6	17.0	0.0	1.8
	学生 n= 10	70.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	無職 n= 321	52.6	25.5	2.2	16.2	0.3	3.1

### ○リビングウィルの考えについて

【賛成する】居住年数別で、居住年数が長くなるにつれて回答割合が低くなっている。

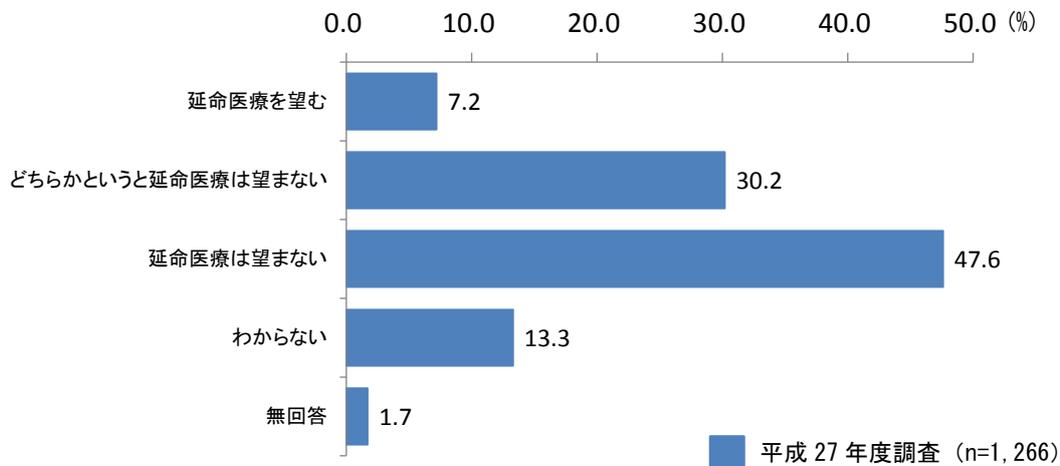
【賛成するが、書面にまでする必要はない】年齢階層別で「60歳代」(26.6%)、「70歳以上」(25.5%)で高くなっている。

【賛成できない】居住地域②(医療圏域)別で「真庭」が9.7%と最も高くなっている。

【わからない】年齢階層別で「70歳以上」が16.1%と高くなっている。

【その他】全体的に2%以下と低くなっている。

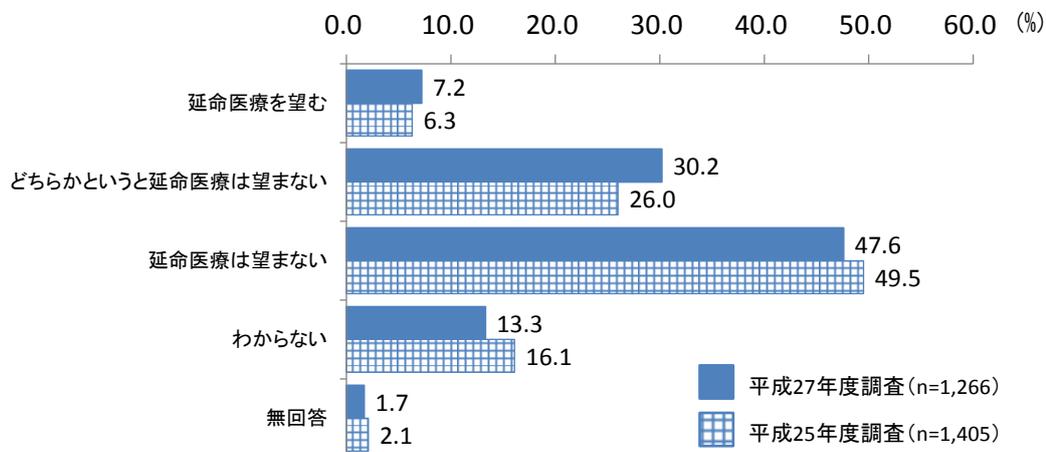
■問4 あなたの余命が6ヶ月程度あるいはそれより短い期間と告げられた場合、延命医療を望みますか。  
あてはまる番号1つに○印をつけてください。



余命が6ヶ月程度あるいはそれより短い期間と告げられた場合、延命医療を望みますかについて、「延命医療は望まない」と回答した割合が47.6%と最も高く、次いで「どちらかという延命医療は望まない」(30.2%)、「延命医療を望む」(7.2%)の順となっている。

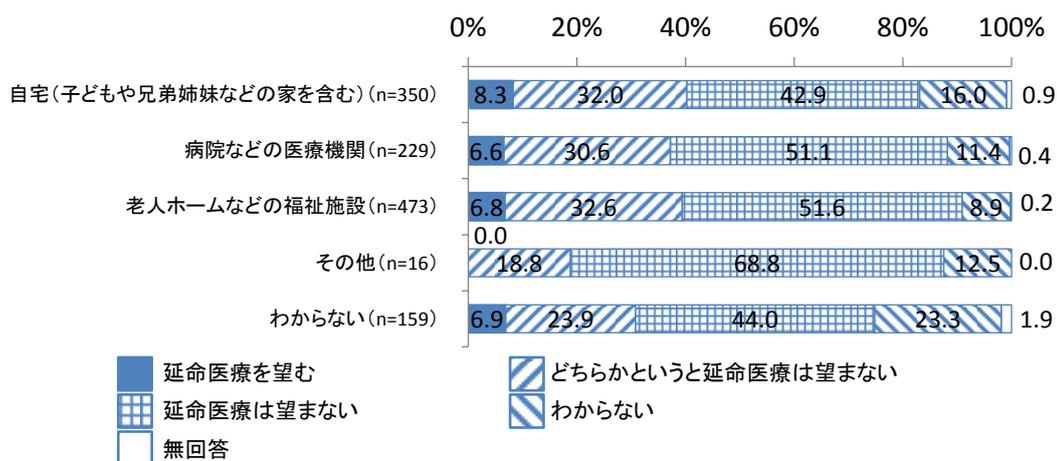
一方、「わからない」と回答した割合は13.3%となっている。

<類似調査比較>



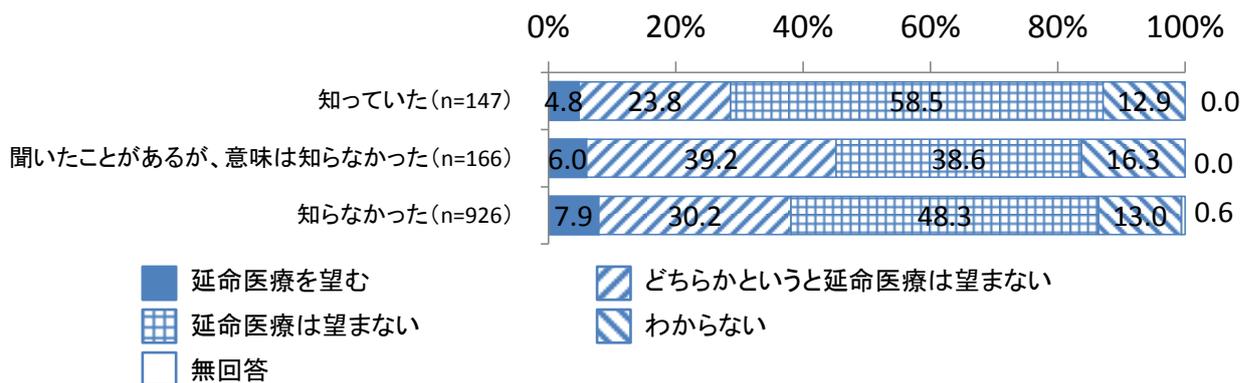
平成25年度調査と比較して、大きな差はみられない。

### <問1とのクロス集計>



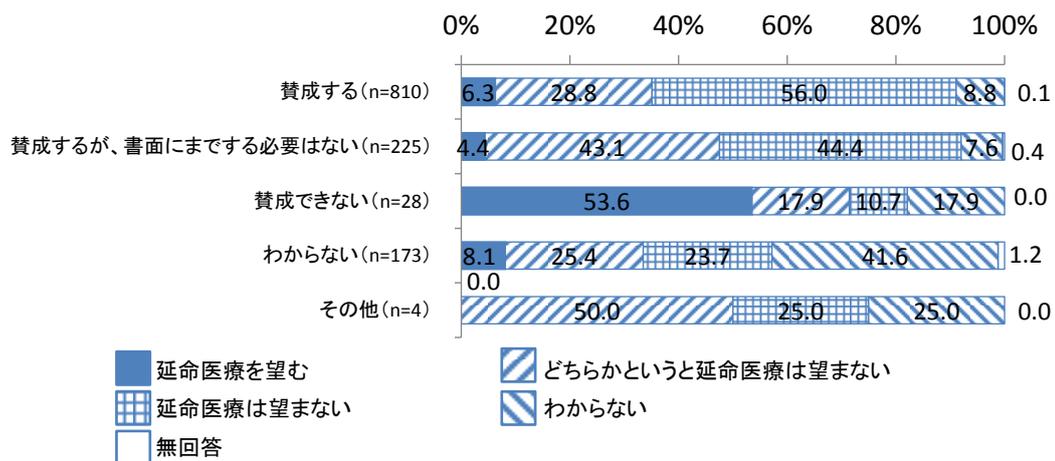
問1で「自宅(子どもや兄弟姉妹などの家を含む)」と回答した人では「延命医療は望まない」と回答した割合が42.9%と低くなっている。

### <問2とのクロス集計>



問2で「知っていた」と回答した人では「延命医療は望まない」、問2で「聞いたことがあるが、意味は知らなかった」と回答した人では「どちらかというとなんも望まない」と回答した割合がそれぞれ高くなっている。

<問3とのクロス集計>



問3で「賛成する」と回答した人では「延命医療は望まない」、問3で「賛成できない」と回答した人では「延命医療を望む」、問3で「わからない」と回答した人では「わからない」と回答した割合がそれぞれ高くなっている。

## 【余命が短い期間と告げられた場合に延命医療を望むか】

	全体	延命医療を望む	どちらかという と延命 医療は望まない	延命医療は望まない	わからない	無回答
全体	全体 n= 1,266	7.2	30.2	47.6	13.3	1.7
性別	男性 n= 521	7.5	30.7	46.1	13.4	2.3
	女性 n= 628	7.6	31.5	46.0	13.5	1.3
年齢階層	20歳代 n= 92	16.3	27.2	28.3	25.0	3.3
	30歳代 n= 154	16.2	35.7	30.5	17.5	0.0
	40歳代 n= 224	7.6	34.8	40.6	17.0	0.0
	50歳代 n= 200	5.5	27.5	52.5	12.5	2.0
	60歳代 n= 308	3.6	30.8	55.8	8.4	1.3
	70歳以上 n= 274	4.4	25.5	55.8	10.2	4.0
世帯構成	ひとり暮らし n= 153	7.8	24.2	56.2	11.1	0.7
	夫婦のみ n= 339	5.6	28.0	52.8	10.9	2.7
	親・子の二世帯 n= 555	7.9	33.3	43.1	14.6	1.1
	親・子・孫の三世帯 n= 177	7.3	32.2	44.6	14.1	1.7
	その他 n= 21	4.8	19.0	33.3	28.6	14.3
同居の子ども	子どもがいる n= 567	8.3	32.1	44.6	13.2	1.8
	子どもはいない n= 645	6.7	28.4	49.1	14.1	1.7
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 585	7.0	28.4	49.7	13.2	1.7
	備中地域 n= 498	6.4	32.9	44.4	14.3	2.0
	美作地域 n= 168	10.1	29.2	48.2	11.3	1.2
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 585	7.0	28.4	49.7	13.2	1.7
	県南西部 n= 449	6.7	32.3	44.8	14.5	1.8
	高梁・新見 n= 49	4.1	38.8	40.8	12.2	4.1
	真庭 n= 31	9.7	38.7	38.7	12.9	0.0
	津山・英田 n= 137	10.2	27.0	50.4	10.9	1.5
居住年数	5年未満 n= 62	9.7	29.0	51.6	6.5	3.2
	5年以上10年未満 n= 35	14.3	34.3	34.3	17.1	0.0
	10年以上20年未満 n= 122	9.0	31.1	41.0	17.2	1.6
	20年以上 n= 1,032	6.7	30.1	48.5	13.0	1.6
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 133	3.0	32.3	52.6	9.8	2.3
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 368	9.2	34.8	39.4	15.5	1.1
	会社・団体などの役員 n= 31	3.2	22.6	61.3	9.7	3.2
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 219	6.8	33.8	47.9	10.0	1.4
	専業主婦(主夫) n= 165	9.1	29.1	44.2	16.4	1.2
	学生 n= 10	40.0	0.0	20.0	30.0	10.0
	無職 n= 321	5.6	24.3	55.1	12.8	2.2

### ○余命が短い期間と告げられた場合に延命医療を望むかについて

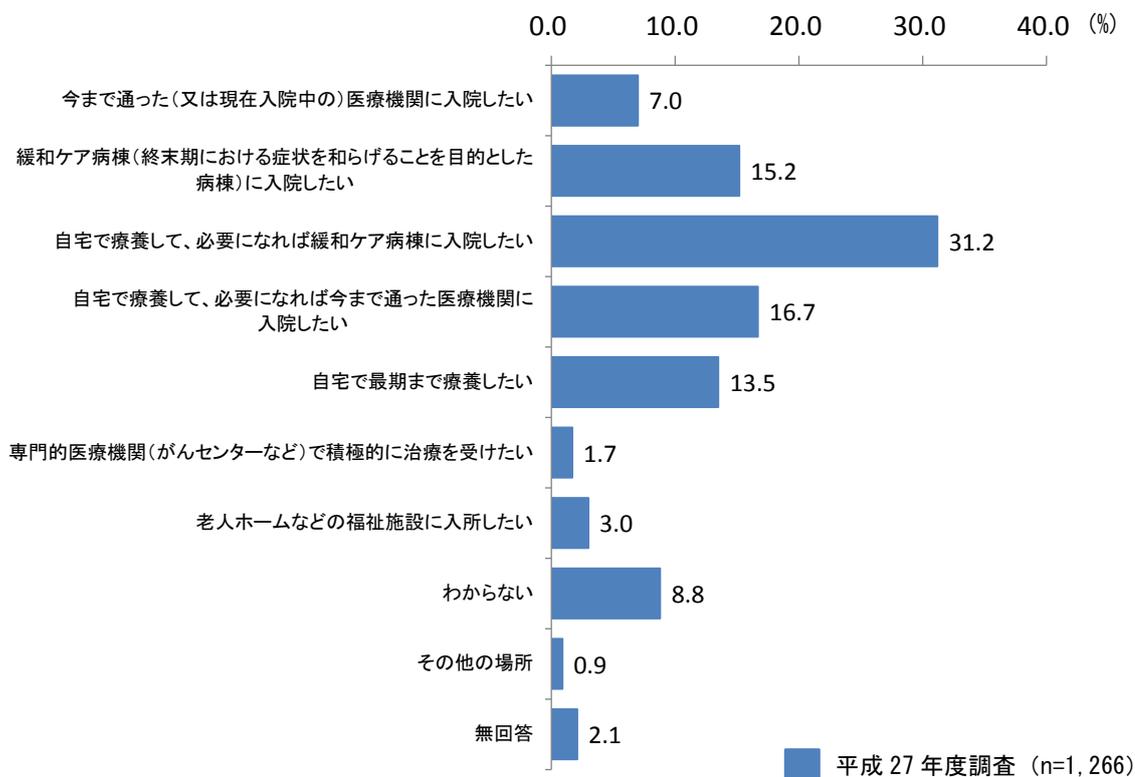
【延命医療を望む】年齢階層別で「20歳代」(16.3%)、「30歳代」(16.2%)が高くなっている。

【どちらかという  
と延命医療は望まない】居住地域②(医療圏域)別で「高梁・新見」(38.8%)、「真庭」(38.7%)が高くなっている。

【延命医療は望まない】年齢階層別で「20歳代」が28.3%と低く、「50歳代」以上が5割以上と高くなっている。

【わからない】年齢階層別で「20歳代」(25.0%)が高くなっている。

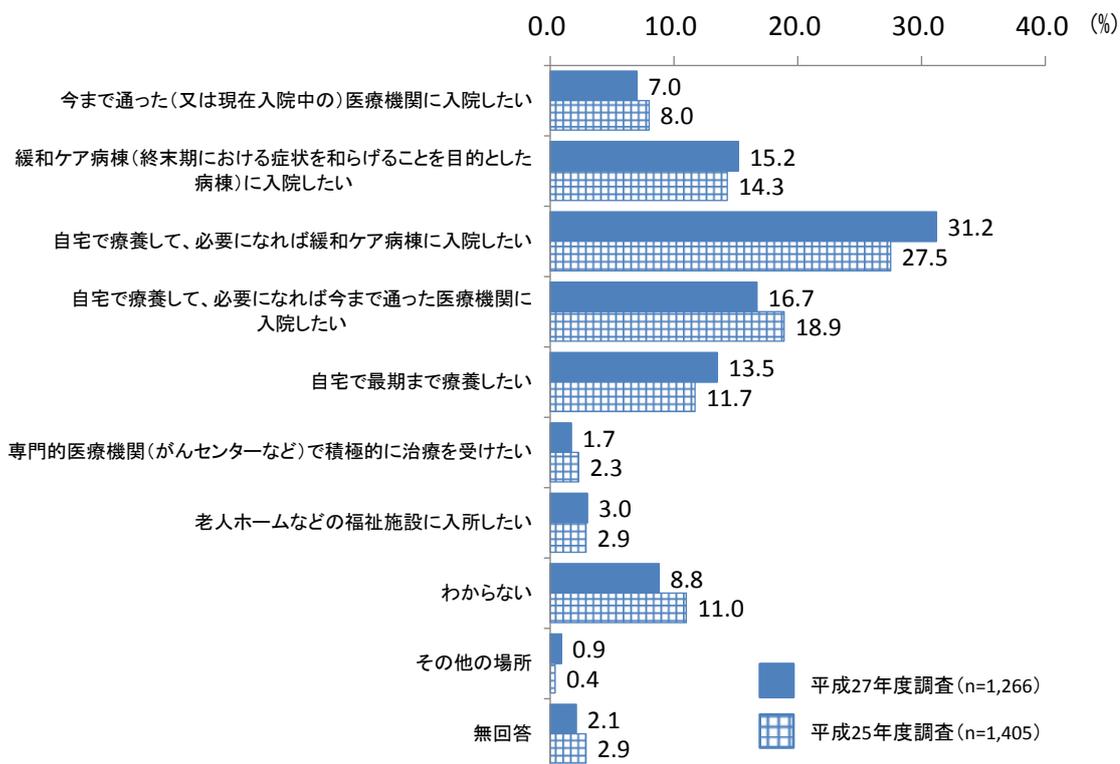
■問5 あなたの余命が6ヶ月程度あるいはそれより短い期間と告げられた場合、療養生活は最期までどこで送りたいですか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



余命が6ヶ月程度あるいはそれより短い期間と告げられた場合、療養生活は最期までどこで送りたいですかについて、「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」と回答した割合が31.2%と最も高く、次いで「自宅で療養して、必要になれば今まで通った医療機関に入院したい」(16.7%)、「緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげることを目的とした病棟)に入院したい」(15.2%)、「自宅で最期まで療養したい」(13.5%)の順となっている。

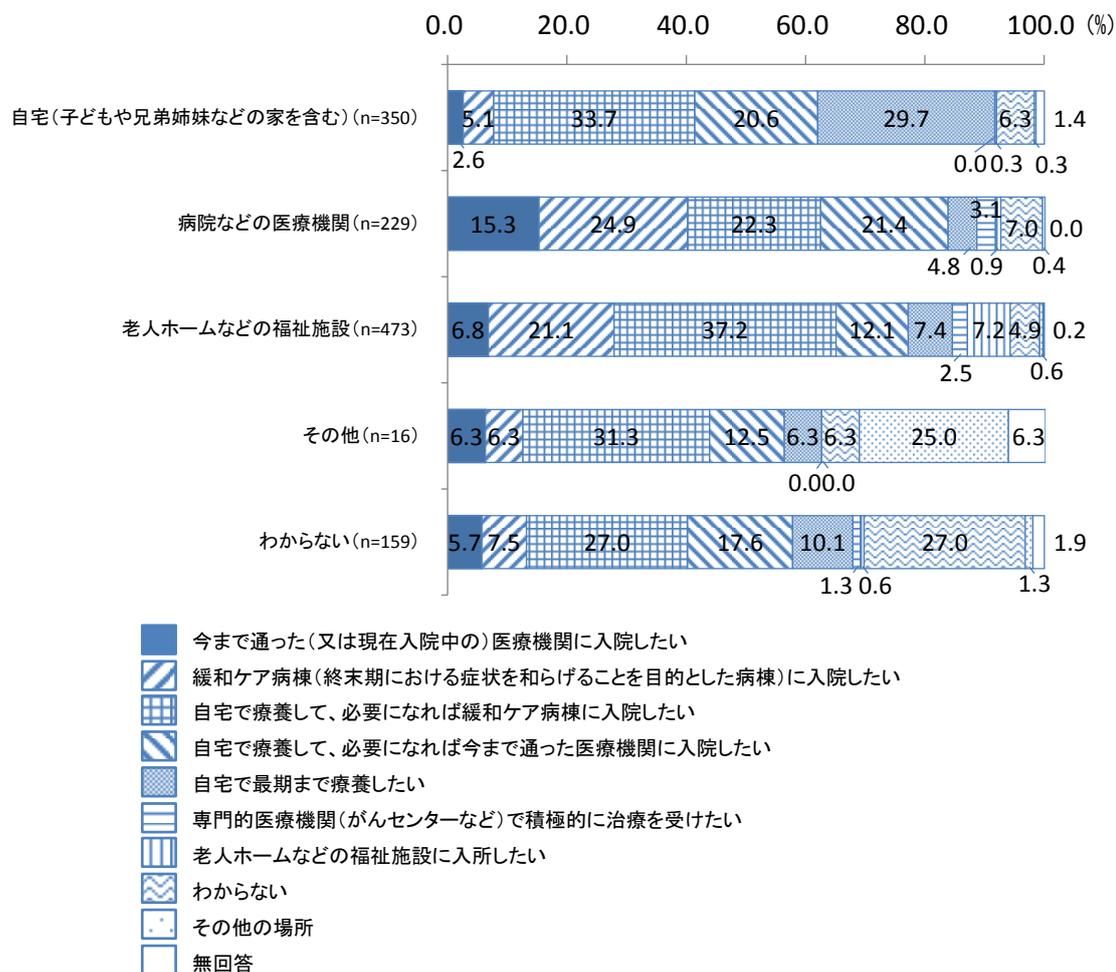
一方、「わからない」と回答した割合は8.8%となっている。

## <類似調査比較>



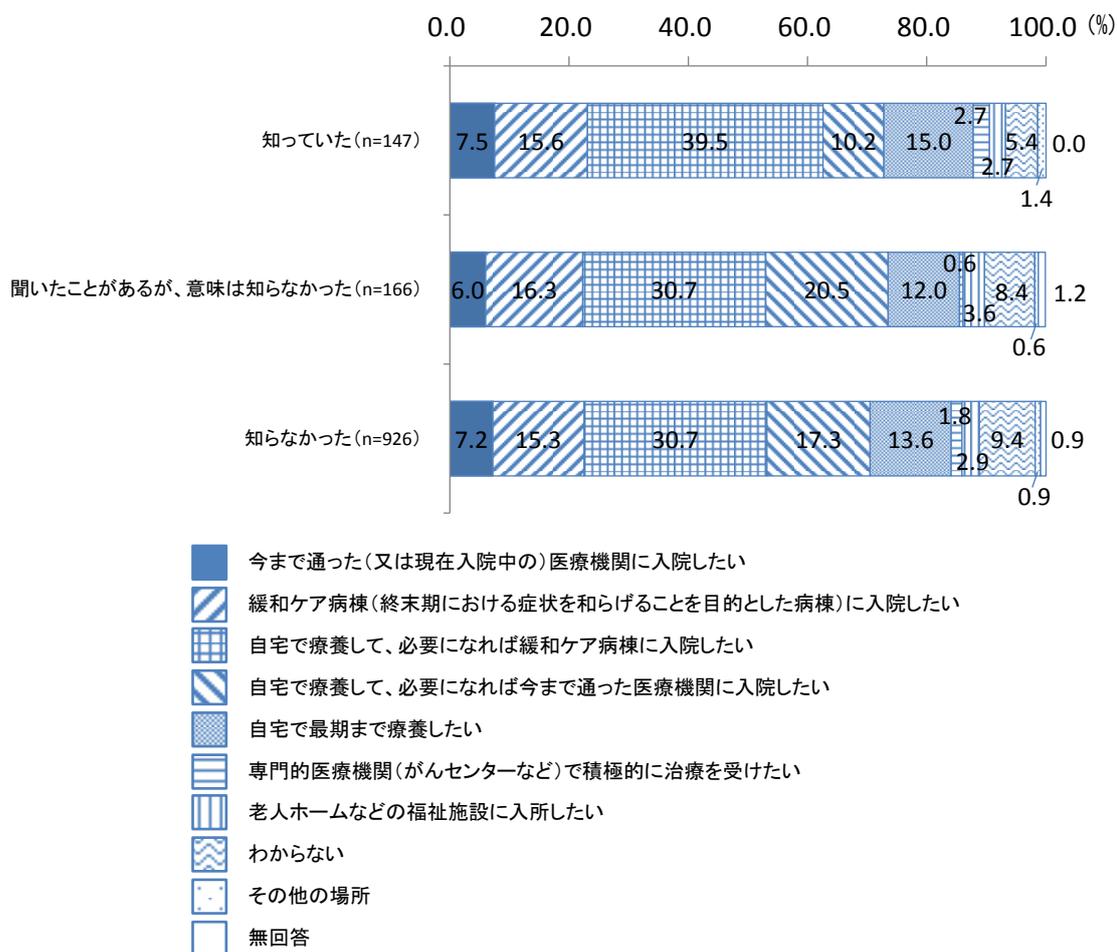
平成 25 年度調査と比較して、大きな差はみられない。

<問1とのクロス集計>



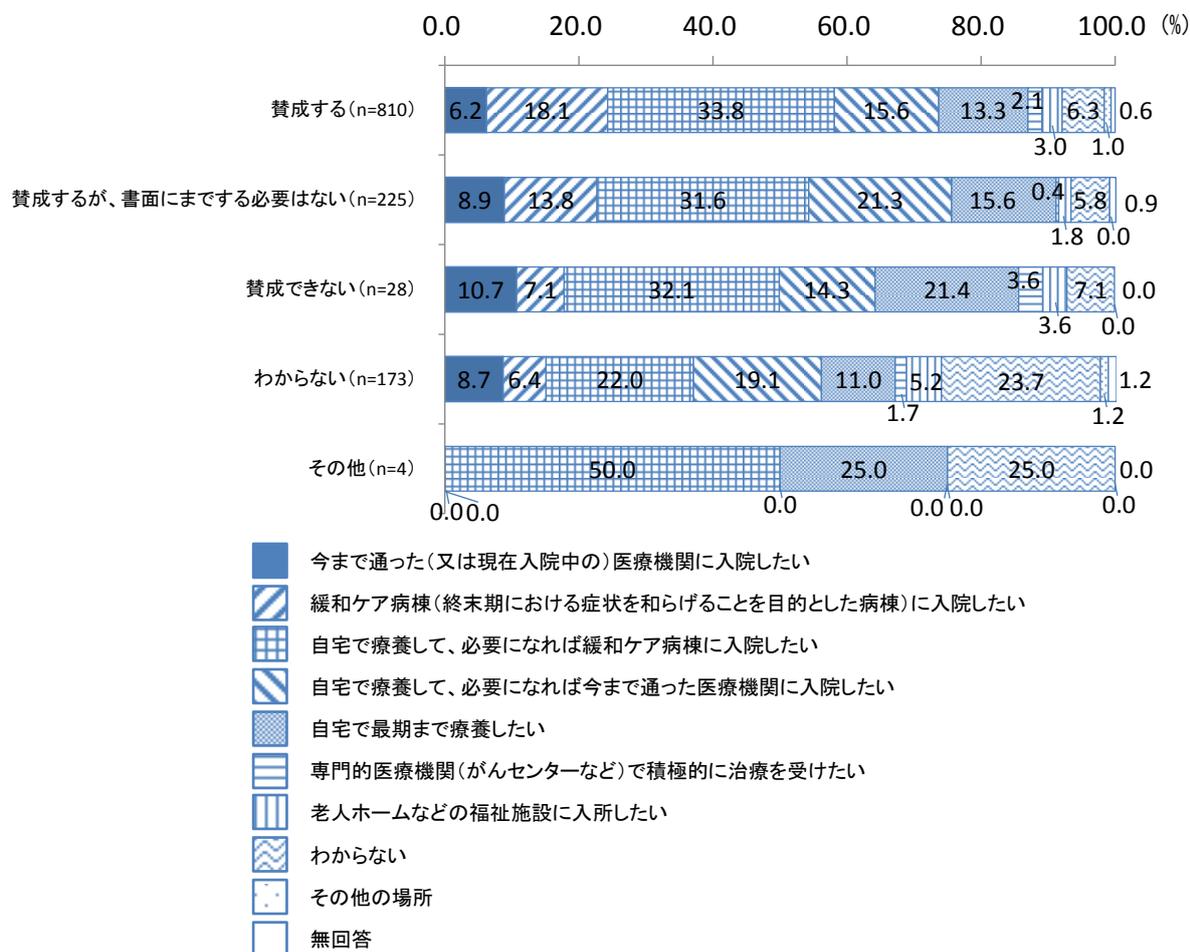
問1で「自宅(子どもや兄弟姉妹などの家を含む)」と回答した人では「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」「自宅で最期まで療養したい」、問1で「病院などの医療機関」と回答した人では「緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげることを目的とした病棟)に入院したい」「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」「自宅で療養して、必要になれば今まで通った医療機関に入院したい」、問1で「老人ホームなどの福祉施設」と回答した人では「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」、問1で「わからない」と回答した人では「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」「わからない」と回答した割合がそれぞれ高くなっている。

<問2とのクロス集計>



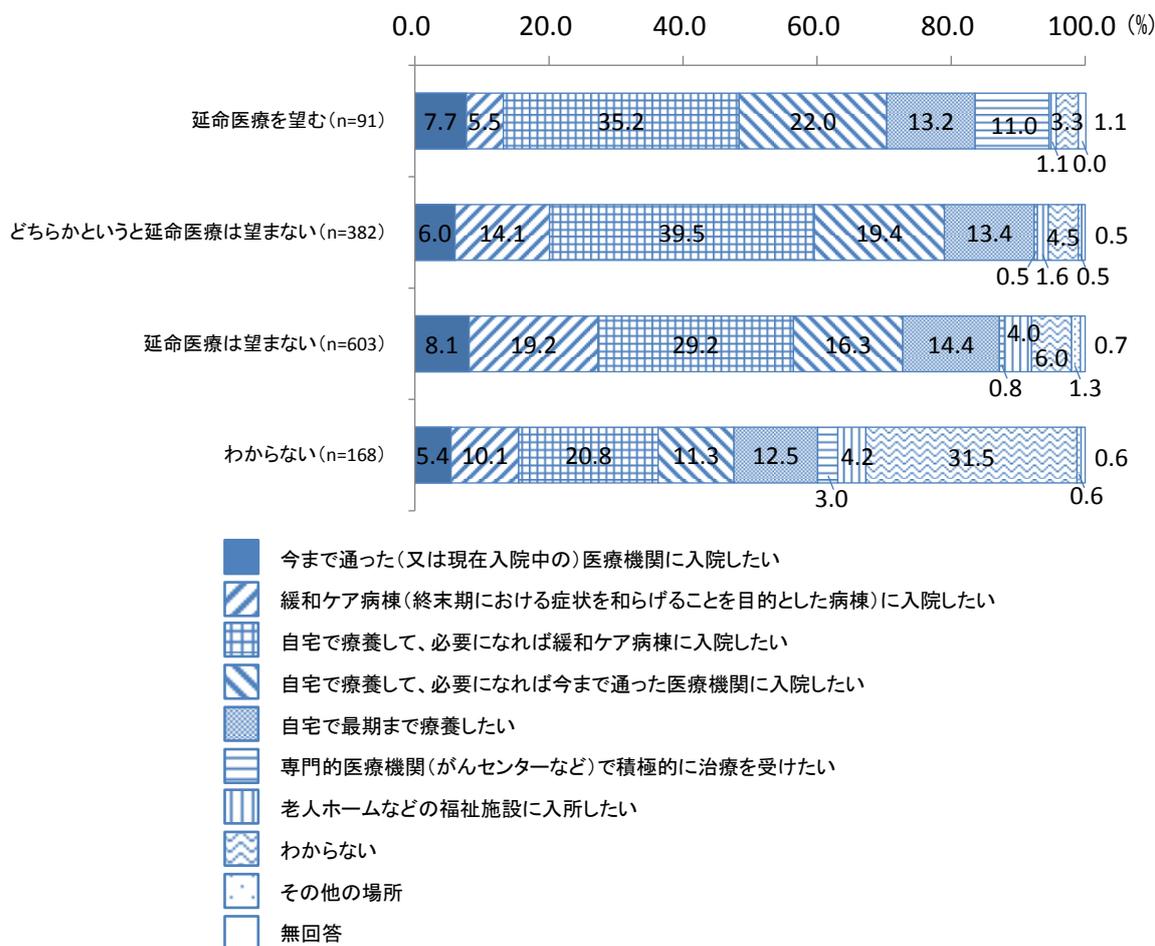
問2で「知っていた」と回答した人では「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」と回答した割合が39.5%と高くなっている。

<問3とのクロス集計>



問3で「賛成する」又は「賛成するが、書面にまでする必要はない」と回答した人では「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」、問3で「わからない」と回答した人では「わからない」「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」と回答した割合が高くなっている。

<問4とのクロス集計>



問4で「延命医療を望む」と回答した人では「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」「自宅で療養して、必要になれば今まで通った医療機関に入院したい」「専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的に治療を受けたい」、問4で「どちらかという延命医療は望まない」と回答した人では「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」、問4で「延命医療は望まない」と回答した人では「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」「緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげることを目的とした病棟)に入院したい」、問4で「わからない」と回答した人では「わからない」と回答した割合がそれぞれ高くなっている。

【余命が短い期間と告げられた場合、療養生活は最期までどこで送りたいか】

	全体	今まで通った(又は現在入院中の)医療機関に入院したい	緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげることを目的とした病棟)に入院したい	自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい	自宅で療養して、必要になれば今まで通った医療機関に入院したい	自宅で最期まで療養したい	専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的に治療を受けたい	老人ホームなどの福祉施設に入所したい	わからない	その他の場所	無回答
全体	全体 n= 1,266	7.0	15.2	31.2	16.7	13.5	1.7	3.0	8.8	0.9	2.1
性別	男性 n= 521	6.5	12.9	27.6	18.8	18.2	1.9	2.7	7.9	0.8	2.7
	女性 n= 628	6.8	17.4	35.8	15.1	9.7	1.8	2.5	8.4	0.8	1.6
年齢階層	20歳代 n= 92	7.6	6.5	28.3	12.0	21.7	5.4	1.1	12.0	2.2	3.3
	30歳代 n= 154	3.9	11.7	46.1	13.0	13.6	2.6	1.3	7.1	0.6	0.0
	40歳代 n= 224	3.6	10.3	38.8	17.4	12.1	1.8	2.7	11.6	0.9	0.9
	50歳代 n= 200	5.5	17.0	37.0	13.0	12.0	1.5	1.5	9.0	1.0	2.5
	60歳代 n= 308	7.5	21.4	25.6	16.6	14.9	0.6	3.6	7.1	0.6	1.9
	70歳以上 n= 274	12.4	15.3	23.0	10.9	10.9	1.5	5.5	8.0	0.4	3.6
世帯構成	ひとり暮らし n= 153	12.4	20.9	23.5	13.7	9.2	2.0	7.2	8.5	0.7	2.0
	夫婦のみ n= 339	9.4	16.8	29.5	17.1	12.1	1.8	3.2	6.5	0.3	3.2
	親・子の二世帯 n= 555	4.7	13.2	33.0	17.8	15.5	2.0	2.3	9.0	0.9	1.6
	親・子・孫の三世帯 n= 177	5.1	13.6	36.7	16.9	13.0	1.1	1.1	10.7	1.1	0.6
	その他 n= 21	4.8	9.5	28.6	4.8	23.8	0.0	0.0	19.0	4.8	4.8
同居の子ども	子どもがいる n= 567	5.1	13.4	36.7	15.9	14.3	1.8	2.3	7.6	1.1	1.9
	子どもはいない n= 645	8.2	16.6	27.0	17.2	13.0	1.9	3.1	10.1	0.6	2.3
居住地域①(県民局)	備前地域 n= 585	7.2	17.8	30.3	16.2	12.1	1.7	3.1	8.4	0.9	2.4
	備中地域 n= 498	6.4	12.0	32.7	18.5	13.3	1.8	2.6	9.4	1.0	2.2
	美作地域 n= 168	8.3	14.3	30.4	13.7	18.5	1.8	4.2	8.3	0.0	0.6
居住地域②(医療圏)	県南東部 n= 585	7.2	17.8	30.3	16.2	12.1	1.7	3.1	8.4	0.9	2.4
	県南西部 n= 449	6.0	11.1	34.3	19.2	12.9	1.3	2.2	9.6	1.1	2.2
	高梁・新見 n= 49	10.2	20.4	18.4	12.2	16.3	6.1	6.1	8.2	0.0	2.0
	真庭 n= 31	6.5	22.6	32.3	3.2	29.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0
	津山・英田 n= 137	8.8	12.4	29.9	16.1	16.1	2.2	5.1	8.8	0.0	0.7
居住年数	5年未満 n= 62	6.5	12.9	29.0	11.3	17.7	4.8	4.8	6.5	3.2	3.2
	5年以上10年未満 n= 35	2.9	11.4	37.1	17.1	8.6	8.6	0.0	11.4	0.0	2.9
	10年以上20年未満 n= 122	6.6	15.6	34.4	14.8	10.7	2.5	2.5	10.7	0.0	2.5
	20年以上 n= 1,032	7.4	15.3	30.8	17.3	13.8	1.2	3.1	8.5	0.8	1.8
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 133	9.0	15.8	24.8	18.0	15.8	1.5	6.0	6.0	1.5	1.5
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 368	4.6	11.7	34.5	16.6	17.1	1.6	2.2	9.0	0.8	1.9
	会社・団体などの役員 n= 31	9.7	29.0	29.0	9.7	6.5	3.2	0.0	9.7	0.0	3.2
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 219	6.4	17.4	36.5	14.2	11.9	1.4	2.3	7.8	1.4	0.9
	専業主婦(主夫) n= 165	6.7	13.9	41.2	13.3	9.1	1.8	1.2	10.9	0.0	1.8
	学生 n= 10	0.0	0.0	40.0	10.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	無職 n= 321	9.3	16.5	21.5	21.2	12.5	1.6	4.7	9.0	0.6	3.1

○余命が短い期間と告げられた場合、療養生活は最期までどこで送りたいかについて

- 【今まで通った(又は現在入院中の)医療機関に入院したい】年齢階層別で「70歳以上」、世帯構成別で「ひとり暮らし」がともに12.4%と最も高くなっている。
- 【緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげることを目的とした病棟)に入院したい】職業別で「会社・団体などの役員」が29.0%と最も高くなっている。
- 【自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい】年齢階層別で「30歳代」が46.1%と最も高くなっている。
- 【自宅で療養して、必要になれば今まで通った医療機関に入院したい】年齢階層別で「70歳以上」が23.0%と最も高くなっている。
- 【自宅で最期まで療養したい】年齢階層別で「20歳代」が21.7%と高くなっている。
- 【専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的に治療を受けたい】職業別の学生を除いて1割以下と低くなっている。
- 【老人ホームなどの福祉施設に入所したい】全体的に8%以下と低くなっている。
- 【わからない】世帯構成別のその他を除いて1割程度となっている。
- 【その他の場所】全体的に5%以下と低くなっている。

### 3 資料

#### 【調査票】

#### 県民満足度等調査御協力のお願

県行政につきましては、日頃から、御理解と御協力をいただきありがとうございます。  
ございます。

県では、平成26年度からの県政推進の羅針盤として「晴れの国おかやま生き  
生きプラン」を策定しましたが、このプランに基づいて実施する施策によっ  
て、県民の満足度がどの程度向上しているかを把握するため、県民満足度調査  
を行います。また、その他、県民満足度調査に併せて県民の皆様の意識を伺う  
調査を行い、今後の県政に生かしていくこととしています。

全ての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」を実現するため、皆様の  
御希望等を反映させたいと考えていますので、御協力いただきますようお願い  
いたします。

県民の皆様へ

岡山県知事 伊原木 隆太

#### <回答に当たってのお願い>

- 1 回答期限 同封の返信用封筒で**平成27年6月23日（火）まで**に投函して  
ください。  
(切手は不要です。)
- 2 調査対象 本調査票は県内在住の20歳以上の方のうち、無作為に抽出した  
2,500名にお送りしています。
- 3 注意事項 調査票・返信用封筒に氏名・住所を記入する必要はありません。  
回答内容は、全て統計的に処理し、個人が特定されることはありません。  
また、この調査目的以外のために使用することはありません。
- 4 問い合わせ先  
岡山県総合政策局政策推進課 担当：木村、奥村  
電話：086-226-7402  
FAX：086-224-2143



©岡山県「ももっちとうらっち」



## 県民満足度等調査 調査票

### I あなたご自身についておたずねします

問1 おたずねした回答を統計的に分析するため、あなたご自身のことについて、平成27年6月1日現在でお答えください。

(1) 性別 (あてはまる番号1つに○印をつけてください。)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

(2) 年齢 (あてはまる番号1つに○印をつけてください。)

1. 20～24歳	7. 50～54歳
2. 25～29歳	8. 55～59歳
3. 30～34歳	9. 60～64歳
4. 35～39歳	10. 65～69歳
5. 40～44歳	11. 70～74歳
6. 45～49歳	12. 75歳以上

(3) 世帯構成 (あてはまる番号1つに○印をつけてください。)

1. ひとり暮らし	4. 親・子・孫の三世代
2. 夫婦のみ	5. その他( )
3. 親・子の二世代	

(4) 同居の子どもの有無 (あてはまる番号1つに○印をつけてください。)

1. 子どもがいる	2. 子どもはいない
-----------	------------

(5) 子どもの成長段階 (あてはまる番号すべてに○印をつけてください。)

1. 小学校入学前	5. 短大、大学、大学院、専門学校などの学生
2. 小学生	6. 社会人
3. 中学生	7. その他( )
4. 高校生・大学受験生	

(6) お住まいの市町村 (あてはまる番号1つに○印をつけてください。)

1. 岡山市	7. 総社市	13. 真庭市	19. 矢掛町	25. 久米南町
2. 倉敷市	8. 高梁市	14. 美作市	20. 新庄村	26. 美咲町
3. 津山市	9. 新見市	15. 浅口市	21. 鏡野町	27. 吉備中央町
4. 玉野市	10. 備前市	16. 和気町	22. 勝央町	
5. 笠岡市	11. 瀬戸内市	17. 早島町	23. 奈義町	
6. 井原市	12. 赤磐市	18. 里庄町	24. 西粟倉村	

(7) 県内での通算の居住年数 (あてはまる番号1つに○印をつけてください。)

1. 5年未満	3. 10年以上20年未満
2. 5年以上10年未満	4. 20年以上

(8) 職業 (あてはまる番号1つに○印をつけてください。)

1. 自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む)
2. 会社・団体などの正社員(正職員)
3. 会社・団体などの役員
4. パートタイマー、アルバイト、契約社員など
5. 専業主婦(主夫)
6. 学生
7. 無職

## II 満足度についておたずねします

問2 あなたは、日常生活を過ごす中で、次の18項目についてどのように感じていますか。  
また、県が取り組むべき施策としての重要性についてどのように考えていますか。各項目ごとに、該当する数字に○印をつけてください。

	あなたの満足度					県施策の重要性				
	満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	特に重視すべき内容である	重視すべき内容である	どちらともいえない	あまり重視する内容ではない	重視する内容ではない
1. 子どもの学力を伸ばす学習環境が整った地域になっている <施策例> ○落ち着いた授業環境の整備 ○教師の授業力向上 ○地域で支える学習環境の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2. 青少年が健全に育つ環境が整った地域になっている <施策例> ○道徳教育の充実 ○非行防止対策 ○社会に貢献する態度の育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3. 企業の立地や設備投資が進み、経済に活気がある地域になっている <施策例> ○立地環境の整備と新たな企業用地の確保 ○魅力ある誘致施策の展開 ○誘致企業の新たな事業展開の支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4. 競争力のある地元企業が育つ地域になっている <施策例> ○新規事業展開やベンチャー企業への支援 ○販路開拓への支援 ○産学官連携による技術革新等への支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5. 国内外から多くの観光客が訪れる地域になっている <施策例> ○観光資源の旅行商品化の促進 ○戦略的な観光プロモーション ○外国人誘客拡大と空路拡充	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6. 白桃やぶどう、畜産物等の魅力的な産品が生産され、元気な農林水産業が営まれる地域になっている <施策例> ○ニーズに対応した農林水産物の生産振興 ○力強い担い手の育成 ○県産品のブランド化と国内外への販路拡大	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7. 雇用が確保され、適性と能力に応じていきいきと働くことができる地域になっている <施策例> ○産業振興による雇用の場の拡大 ○職業訓練受講による就職実現 ○若者等の就職支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8. 良質な保健・医療・福祉サービスが受けられる地域になっている <施策例> ○心と体の健康づくり ○地域医療提供体制の整備 ○高齢者や障害のある人が地域で安心して暮らせる環境の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9. 安心して子どもを生み、育てられる環境が整った地域になっている <施策例> ○きめ細かな保育サービスの提供 ○子育てしやすい環境の整備 ○母子保健や周産期・小児医療対策の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	あなたの満足度					県施策の重要性				
	満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	特に重視すべき内容である	重視すべき内容である	どちらともいえない	あまり重視する内容ではない	重視する内容ではない
10. 地震・津波や風水害等の災害に対する不安が少ない地域になっている <施策例> ○防災教育・避難訓練や自主防災組織の結成促進 ○わかりやすい防災情報提供など災害時における体制強化 ○公共施設の耐震化や防災施設整備の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11. 犯罪や交通事故に巻き込まれる不安が少ない地域になっている <施策例> ○犯罪の起きにくい社会づくり ○重要犯罪等の徹底検挙 ○交通安全対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12. 農山村や離島が、安心して暮らせ、交流が活発な地域になっている <施策例> ○地域住民の支え合いや地域を応援する仕組みの充実 ○都市との交流や移住・定住の促進 ○安全で円滑な交通の確保	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13. 自然や景観、身近な生活環境が快適に保たれた地域になっている <施策例> ○水、大気、土壌、自然、景観などの保全対策 ○省資源・省エネルギー型ライフスタイルの推進 ○ごみの減量化とリサイクルの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14. 普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている <施策例> ○生涯スポーツに向けた環境づくり ○文化創造活動の振興 ○生涯学習活動の環境づくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15. 男女がともに能力を発揮して活躍できる地域になっている <施策例> ○女性の活躍推進のためのキャリアアップ講座の実施 ○地域・家庭等への男性や若者世代の参画を重視した啓発	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16. 差別や偏見がなく住みやすい地域になっている <施策例> ○人権啓発の推進 ○人権意識を高める研修の実施 ○多様化する人権課題に対応した相談・支援体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17. ボランティアやNPO等が活動しやすい地域になっている <施策例> ○ボランティア・NPO等の活動情報の提供や研修の実施 ○会計・税務・法律等の専門家による相談体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18. 愛着や誇りを持って、魅力を伝えたい地域になっている <施策例> ○岡山県の知名度向上の取組 ○岡山ブランドの確立 ○愛着心と誇りの醸成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

### Ⅲ 防災対策について

問1 あなたが実施している災害に対する備えについて、あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. 非常食や水の備蓄       | 6. 家族との連絡方法を定める |
| 2. 防災訓練への参加       | 7. ハザードマップの確認   |
| 3. 避難場所・避難経路の確認   | 8. その他 ( )      |
| 4. 家具の転倒防止        | 9. 特に対策をしていない   |
| 5. 自宅の耐震化や耐震診断の実施 |                 |

**付問 問1で「1. 非常食や水の備蓄」に○印をつけた方におたずねします。**

(1)－① どのくらいの備蓄をしていますか？最もあてはまる番号1つに○印をつけてください。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 1日分程度  | 4. 1週間以上   |
| 2. 3日分程度  | 5. その他 ( ) |
| 3. 1週間分程度 | 6. わからない   |

(1)－② ランニングストック(※)の考え方を含めると何日分の食糧が備蓄できていることになりますか？最もあてはまる番号1つに○印をつけてください。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 1日分程度  | 4. 1週間以上   |
| 2. 3日分程度  | 5. その他 ( ) |
| 3. 1週間分程度 | 6. わからない   |

※「ランニングストック」とは

乾麺、缶詰、冷凍食品、インスタント食品、お菓子等、日頃食べている比較的賞味期限の長い複数の食品を多めに買い置きして、賞味期限が近づいたものから使っていく、使った分を買い足していく方法。

**付問 問1で「2. 防災訓練への参加」に○印をつけた方におたずねします。**

(2) どんな訓練に参加していますか？あてはまる番号のすべてに○印をつけてください。

① 主催者

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 国、県、市町村が実施する防災訓練          |
| 2. 自主防災組織や自治会等の地域で実施する防災訓練   |
| 3. 幼稚園、保育園、小中高校等の学校で実施する防災訓練 |
| 4. 職場で実施する防災訓練               |
| 5. 有志のグループで実施する訓練            |
| 6. その他 ( )                   |



問6 自主防災活動への参加についておたずねします。あなた又はあなたのご家族は自主防災組織の活動に参加していますか？あてはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 地域に自主防災組織があり、その活動に自分自身又は家族が参加している
2. 地域に自主防災組織があるが、自分も家族も参加していない
3. 地域に自主防災組織がない、又は、あるかどうか不明だが、あれば参加したい
4. 地域に自主防災組織がない、又は、あるかどうか不明だが、あっても参加しない

問7 防災全般に関する知識や情報を入手するにあたり、あなたが今後重視したいものはどれですか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. テレビ
2. ラジオ
3. 新聞
4. 雑誌・書籍
5. 国や地方公共団体などのパンフレット
6. 防災訓練・避難訓練
7. 防災に関する展示会・講演会・セミナー・シンポジウムなど
8. 防災情報のホームページ・アプリなどの情報
9. ツイッター・フェイスブックなどの情報
10. 県や市町村の防災情報メール
11. 緊急速報エリアメール
12. 地域の会合
13. 防災ボランティア
14. 勤務先
15. 家族・知人
16. その他

#### IV 地方創生について

問1 地方から東京への人口集中が進んでいます。あなたは、このような状況についてどう思いますか。あてはまる番号1つに○印を付けてください。

1. 地方から東京への人口集中は望ましくない
2. 地方から東京への人口集中は、現状程度が望ましい
3. 地方から東京へさらに人口集中するのが望ましい
4. 居住地は人びとが自ら決めるべきであり、いずれでもよい
5. わからない

問2 本県では県南都市部への人口集中が進んでいます。あなたは、このような状況についてどう思いますか。あてはまる番号1つに○印を付けてください。

1. 県南都市部への人口集中は望ましくない
2. 県南都市部への人口集中は、現状程度が望ましい
3. 県南都市部へさらに人口集中するのが望ましい
4. 居住地は人びとが自ら決めるべきであり、いずれでもよい
5. わからない

問3 人口減少、高齢化が進む中で、地域を維持・活性化させるための方法として、「コンパクトシティ（※1）」や「小さな拠点（※2）」といった、生活機能等を中心部に集約するという考え方があります。

あなたは、その考え方に賛成ですか、それとも反対ですか。あてはまる番号1つに○印を付けてください。

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対
5. わからない

**※1「コンパクトシティ」とは**

行政や医療・福祉、商業等、生活に必要な都市機能を、都市中心部等の一定のエリアに集約化（コンパクト化）することで、持続可能な暮らしやすいまちをつくろうとする考え方

**※2「小さな拠点」とは**

小学校区など、複数の集落が集まる基礎的な生活圏の中で、分散している様々な生活サービスや地域活動の場などを、歩いて動ける範囲でつなぎ、各集落とコミュニティバスなどで結ぶことで、人やモノ、サービスの循環を回り、生活を支える新しい地域運営の仕組みをつくろうとする考え方

問4 次の(A)又は(B)のうち、あてはまる方を選び、お答えください。

**(A) 市街地にお住まいの方のみお答えください。**

(※市街地は、住宅や商業施設などが集まっている地域をイメージしてください。)

あなたは、現在住んでいる地域に住み続けるには、地域内において何が必要であると考えていますか。あてはまる番号のうち、特に必要であるとするものを5つまで○印を付けてください。

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 総合病院や救急病院                |
| 2. 介護施設                     |
| 3. 保育所・幼稚園                  |
| 4. 小学校・中学校                  |
| 5. 百貨店・ショッピングセンター           |
| 6. コンビニエンスストア               |
| 7. スーパーマーケット                |
| 8. 郵便局                      |
| 9. 金融機関                     |
| 10. ATM                     |
| 11. 役所                      |
| 12. 公共交通機関の乗り場 (バス停留所、鉄道駅等) |
| 13. 美術館や博物館などの文化施設          |
| 14. 交番                      |
| 15. 消防署                     |
| 16. その他 ( )                 |

**(B) 市街地以外の地域にお住まいの方のみお答えください。**

あなたは、現在住んでいる地域に住み続けるには、地域内において何が必要であると考えていますか。あてはまる番号のうち、特に必要であるとするものを5つまで○印を付けてください。

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 診療所                      |
| 2. 介護施設                     |
| 3. 保育所・幼稚園                  |
| 4. 小学校・中学校                  |
| 5. 生鮮食料品店                   |
| 6. コンビニエンスストア               |
| 7. スーパーマーケット                |
| 8. 郵便局                      |
| 9. 金融機関                     |
| 10. ATM                     |
| 11. 役場機能 (支所・出張所)           |
| 12. 公共交通機関の乗り場 (バス停留所、鉄道駅等) |
| 13. 交番                      |
| 14. 消防署                     |
| 15. その他 ( )                 |

問5 あなたは、地方創生に関して、行政に何を期待しますか。あてはまる番号のうち、特に期待するものを5つまで○印を付けてください。

1. 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる少子化対策の推進
2. 農林水産業や、伝統的な地場産業・地域の既存産業の振興
3. 地元への生産・雇用の誘発効果が期待できる企業の誘致
4. 地域に雇用を生み出す新産業の創出
5. 移住・定住の促進
6. 魅力ある教育環境の整備
7. 多様な世代が共に暮らせるための福祉、医療の充実
8. 安心して住み続けるための防犯、防災対策の充実
9. 公共交通機関などの生活環境の整備
10. 祭り、自然、町並みなどの地域資源を活かした観光・交流の促進
11. 情報発信力の強化
12. 商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上などの中心市街地の活性化
13. 豊かな自然の保全
14. 地域が元気になる活動に住民が参加できる仕組みの整備
15. 行政運営の効率化・最適化と連携の推進
16. その他 ( )
17. 特にない
18. わからない

## V 人生の最終段階における医療等について

問1 あなたが高齢となり、日常生活を送る上で介護が必要な状態になった場合、どこで介護を受けたいですか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 自宅（子どもや兄弟姉妹などの家を含む）
2. 病院などの医療機関
3. 老人ホームなどの福祉施設
4. その他 ( )
5. わからない

問2 「リビングウィル」という言葉とその意味を、あなたは知っていましたか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 知っていた
2. 聞いたことがあるが、意味は知らなかった
3. 知らなかった

問3 リビングウィルとは、「治る見込みがなく、余命が短いときには延命医療を拒否することをあらかじめ書面に記しておき、本人の意思を直接確かめられないときはその書面に従って治療方針を決定する。」という考え方のことです。このことについて、あなたはどのようにお考えになりますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 賛成する</li><li>2. 賛成するが、書面にまでする必要はない</li><li>3. 賛成できない</li><li>4. わからない</li><li>5. その他 ( )</li></ol> |
|---|

問4 あなたの余命が6ヶ月程度あるいはそれより短い期間と告げられた場合、延命医療を望みますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 延命医療を望む</li><li>2. どちらかという延命医療は望まない</li><li>3. 延命医療は望まない</li><li>4. わからない</li></ol> |
|--|

問5 あなたの余命が6ヶ月程度あるいはそれより短い期間と告げられた場合、療養生活は最期までどこで送りたいですか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 今まで通った（又は現在入院中の）医療機関に入院したい</li><li>2. 緩和ケア病棟（終末期における症状を和らげることを目的とした病棟）に入院したい</li><li>3. 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい</li><li>4. 自宅で療養して、必要になれば今まで通った医療機関に入院したい</li><li>5. 自宅で最期まで療養したい</li><li>6. 専門的医療機関（がんセンターなど）で積極的に治療を受けたい</li><li>7. 老人ホームなどの福祉施設に入所したい</li><li>8. わからない</li><li>9. その他の場所 ( )</li></ol> |
|---|

**アンケート調査に御協力いただきありがとうございました。**